



あらおどり

## 「五ヶ瀬の荒踊」ユネスコ無形文化遺産登録

11月30日（水）、五ヶ瀬町の坂本地区に伝わる「五ヶ瀬の荒踊」が、全国で41件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「風流踊（ふりゅうおどり）」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

400年以上の歴史があるとされる五ヶ瀬の荒踊は、武者装束などをまとい、槍や長刀、弓、鉄砲などを持った総勢60余名の地域の方々が隊列を組んで10余曲を群舞する大がかりな踊りです。毎年9月下旬に、三ヶ所神社の秋季大祭で奉納されたあと、中登神社や坂本城址でも踊られます。

今回、初めて宮崎県の民俗芸能がユネスコ無形文化遺産に登録されることとなります。一方、県では、高千穂の夜神楽など国指定重要無形民俗文化財の神楽がユネスコ無形文化遺産登録されるよう全国の先頭に立って取り組んでいます。神楽も登録されれば、西臼杵地域で民俗芸能が永く大切に受け継がれていることが、さらに評価されることとなります。



# 民生委員・児童委員

## 主任児童委員

をご存じですか？

生活をしていく上で、誰しも、何かしら困りごとを抱えてしまうことがあります。また、昔と比べると地域でのつながりも薄れる中で、周囲に相談できず孤立してしまうケースも増えています。

民生委員・児童委員は、各地域で、そのような困りごとをお持ちの方の相談に応じ、助言などを行うとともに、行政や専門機関に相談内容をつなぎ、そこから必要な支援が受けられるようにするパイプ役としての役割を担っています。また、民生委員・児童委員のほか、子どもに関することを専門的に担当する主任児童委員もいます。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、報酬はなくボランティアで、安心して暮らせる地域づくりのためにさまざまな活動を行っています。

### 民生委員・児童委員

### 主任児童委員

高千穂町	50名	3名
日之影町	22名	2名
五ヶ瀬町	18名	2名

民生委員・児童委員は地区ごとに配置されています。委員の構成等は各町または社会福祉協議会の広報誌をごらんください。なお、詳細は各町の福祉主管課にお問い合わせください。

## この12月で退任される方々に話を伺いました



### 日之影町

かい ひであき

民生委員・児童委員協議会 会長 **甲斐 秀明 さん**

#### —— 活動を振り返ってどうでしたか。

一人暮らしの高齢の方でしたが、訪問すると、食料の買い置きがない、病院に行きたいけど行けないとおっしゃる。年金暮らしですから、なかなかタクシーというわけにはいきません。親戚の方に連れて行ってもらったり、やむを得ず、私が連れて行こうとしたこともありましたが、遠慮されるんですね、やっぱり。生活に困っていても、他の人には迷惑をかけたくないというお気持ちの方が多いと思います。

#### —— なかなか相談しにくい状況もあるんですね。

民生委員・児童委員が訪問したことを知られたくないという雰囲気も、まだあるように感じられます。だから、日之影町の民生委員・児童委員のジャンパーは、できるだけ地味な色にしたんです。でも本当は、自分の地域で民生委員・児童委員が誰なのかを知ってもらって、困ったら気軽に相談してもらいたいと思います。誰でも困ることはあるんですから。

#### —— これから民生委員・児童委員になられる方に、何かアドバイスはありませんか。

話を聴くだけで安心してもらえる程度であればいいのかもしれませんが、家庭環境が複雑な場合は、それ以上踏み込むことが難しいと感じることもありました。そういった場合や専門的なケアを必要とする場合は、役場の担当の人などに事情を話して、専門家につないでいくこと。あとはお任せして、自分の中に抱え込まないようにすることが大事です。



## 高千穂町

民生委員・

児童委員協議会

会長

はなだ のりお  
花田 則男 さん



### — 活動を振り返ってどうでしたか。

数は減ってきていますが、やはり生活が苦しい世帯はあります。一概には言えませんが、ひとり親など、家庭では福祉資金を借りていらっしゃる場合もあります。病気や何かの事情で働けなくなったり、子どもさんが進学しても就職できずにいると、結果として、借入れ金が残ったままの方もいらっしゃいます。いろいろ制度は充実してきていますので、そのような場合は早めに関係機関に相談してもらいたいと思っています。印象に残っているというよりも、そういうことが気になっています。

### — 民生委員・児童委員をやったよかったと思うことは何ですか。

活動で得られたものは「喜び」だと思います。人と接すること、人のお世話をすること、人に頼られること、人のためになること。それらが自分の「喜び」になりました。アンケートでは、仕方がなく引き受けたという人も、辞める頃には、ほとんどの方が民生委員・児童委員になってよかったと答えています。私も民生委員になってよかったと思います。

町内にいろんな仲間ができたこともありがたいことです。民生委員・児童委員の間で、だんだんお互いのプライベートのことも含めて話をするようになり、和気あいあいと、次第にみんなが一つになってきます。民生委員・児童委員としての気持ちを共有することで、やる気も起き、活動の支えにもなります。



## 五ヶ瀬町

主任児童委員

おかだ ともこ  
岡田 智子 さん

### — 活動では御苦労も多かったことでしょうか。

最初はこの地域に問題はないのかなあと考えていましたが、活動が続ける中で、気になることも増えてきました。学校に行くと、校長先生や教頭先生に話を聞く中で、「実は・・・」と初めて知られることもありました。

後半は、コロナ禍の中で、いろんなことができない状況となりました。学校から話を聞いても、そのお子さんのご自宅に行ってもいいものかどうか、悩みながら活動してきました。それでも、朝のあいさつ運動に参加したり、読み聞かせに行ったりして、できるだけ子どもさんと接していました。どこかで子どもさんたちとつながっていないといけないと思ったからです。

### — ご苦労様でした。主任児童委員を終えられて、今のお気持ちはどうですか。

何もできてなくて心苦しいところがありますが、いろんなことを知ることができて、自分の成長にもつながりました。私は保育士をしていたのですが、保育士時代に関わった子どもたちの成長した姿も見ることができたのもよかったです。

見守る人がいるだけでも、子どもたちにとっては何かの力になると思います。実は、私は引込み思案で、コミュニケーションが上手な方ではありません。だからこそ、子どもたちの気持ちが分かることもあります。これからは、近所の子どもたちに声をかけるとか、あいさつをするとか、町民の一人としてできる範囲のことをしたいと思っています。自分自身にとっても、人とつながっていることが、生きていく上での小さな力になるのではないかと思います。



西臼杵支庁 福祉課  
鍋島 健克 主事  
(令和4年4月入庁)

## 取材を終えて・・・

正直なところ、県庁に入るまでは民生委員・児童委員や主任児童委員の存在を知りませんでしたが、8か月間の業務やこの取材を通してほんの少し（まだ知らないことが多いですが）知ることができたのかなと思います。コロナ禍で活動が制限される中で地域の方々をサポートしていくことの難しさは、私ではとても想像ができませんでした。しかし、様々な課題や困難があっても地域のために活動してくださる民生委員・児童委員さんがいてこそ、みんなが安心して暮らしていけるようになっていくと実感しました。

仕事では、これからも民生委員・児童委員さんと関わることがあるので、これまで以上に民生委員さんたちと連携してより暮らしやすい西臼杵地域にしていくお手伝いをしたいです。



(右) 甲斐 雅也さん

## 甲斐製茶園の烏龍茶が **日本茶 AWARD 2022** で **日本茶準大賞** 受賞！

高千穂町の甲斐製茶園（代表 甲斐 雅也さん）で生産された烏龍茶が、「日本茶AWARD2022」の日本茶準大賞に輝き、11月26日（土）に渋谷ヒカリエ（東京都）で開催されたTOKYO TEA PARTY 2022で表彰式が行われました。

日本茶AWARDは、消費者が審査員となっておいしい茶を選ぶもので、今年度は煎茶や玉露など12部門に過去最多の521点が出品されました。部門ごとに1次、2次審査が行われ、各部門の最上位を獲得したお茶の中から投票で「日本茶大賞」や「日本茶準大賞」などが決定されます。

烏龍茶が緑茶を抑えて準大賞を受賞したことは画期的なことであり、甲斐さんは「消費者が特徴ある品質を求めるようになった証拠」と消費拡大に期待を寄せていました。



メイン会場での試乗体験



工事現場見学会

## 高千穂町で

## 土木の日ふれあい祭り 2022 開催！

11月19日（土）、高千穂町総合公園をメイン会場に開催された「土木の日ふれあい祭り2022」で、建設機械の展示・試乗、レンガ橋の作成などの体験コーナーや工事現場見学会などが行われ、多くの家族連れで賑わいました。

子どもたちは、目を輝かせながら楽しそうにショベルカーに試乗し、それを羨ましそうにしているお父さんの姿も見られました。また、建設中である県道竹田五ヶ瀬線波帰之瀬橋（仮称）の工事現場見学会では、参加した家族は、足がすくむような深い谷を覗き込み、高千穂町と五ヶ瀬町を壮大な橋で結ぶ工事に驚いた様子でした。

主催した高千穂地区建設業協会 工藤 勝利 会長は、「子どもたちが建設業に少しでも興味をもってもらえればありがたい」と話していました。



## 地域の方へ心を込めて

## 高千穂高校 宮尾野農場祭 開催！

11月12日（土）に高千穂高校宮尾野農場祭が同校で開催されました。農場祭は、農業教育について地域の方に理解していただくことを目的としており、当日は、野菜や花、牛肉、町内の菓子店とコラボして生まれた安信茶フィナンシェなどの販売が行われました。

生徒さんたちが精一杯努力して生産した野菜は飛ぶように売れ、特に生徒が生肉の加工を行った高千穂牛は、200gで900円と破格の値段ということもあり、開始からわずか15分で売り切れになりました。

生徒さんたちは、地域の方々とのつながりを大切にしようと心を込めて対応していました。

